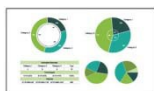
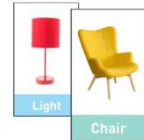


USBメディアプレーヤー ユーザーガイド



Ver. 5.0.0



- 1. 対象モデル [3ページ](#)
- 2. 対応デバイスとフォーマット [4ページ](#)
- 3. 対応フォーマットの制限事項 [5ページ](#)
- 4. USBメモリーを挿入して使う

- A) USBメモリーにコンテンツを保存して再生 [6ページ](#)
静止画の再生時間は全て同じになります。



- B) USBメモリーにコンテンツ+シナリオファイルを保存して再生。各コンテンツの再生時間・順番を任意に設定できます。 [8ページ](#)

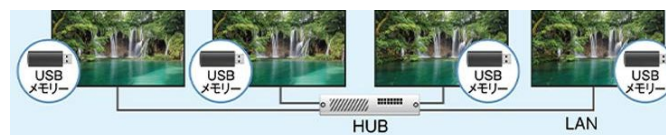


5. LAN経由でコンテンツを配信する [11ページ](#)

- A) Single-Playback [15ページ](#)
(ディスプレイ単体で再生)



- B) Multi-Playback [16ページ](#)
(最大4台のディスプレイを同期して再生)



6. LAN経由で、配信/再生日時を指定して配信する [17ページ](#)

7. PowerPointのデータを静止画/動画に変換する [19ページ](#)

9. テンプレートご利用方法 [20ページ](#)

1. 対象モデル

2021年8月時点

シリーズ	品番	グループ※
LFシリーズ	TH-42LF80J, TH-49LF80J, TH-55LF80J	A
EFシリーズ	TH-32EF1J	
VFシリーズ	TH-55VF1HJ, TH-55VF2HJ, TH-55VF2J	B
SQ1Hシリーズ	TH-86SQ1HJ, TH-75SQ1HJ	C
WQ1Hシリーズ	TH-65WQ1HJ	
SQシリーズ	TH-49SQ1J, TH-55SQ1J, TH-65SQ1J, TH-75SQ1J, TH-86SQ1J, TH-98SQ1J	
SFシリーズ	TH-70SF2HJ, TH-80SF2HJ TH-42SF1HJ, TH-49SF1HJ, TH-55SF1HJ TH-43SF2J, TH-49SF2J, TH-55SF2J	
EQシリーズ	TH-43EQ1J, TH-50EQ1J, TH-55EQ1J TH-65EQ1J, TH-75EQ1J, TH-86EQ1J	
BQシリーズ	TH-75BQ1J, TH-65BQ1J	
XFシリーズ	TH-49XF1HJ	

<LAN経由でのコンテンツ配信について>

※ : ご使用になるモデルによってメニュー画面が違います。ご使用のモデルのグループをご確認の上、お読みください。

※ : 本ガイドは、複数台監視制御ソフトウェア ver.3.1を例に説明しています。

ソフトウェアのバージョンにより画面が異なる場合があります

◆過去の対応モデルについてはHPをご覧ください

https://b2b-api.panasonic.eu/ja/media_stream/d8_emd_pim/media/1649

■対応デバイス

- 市販のUSB メモリーに対応しています。
- セキュリティ機能がついたものは非対応。動作保証外です。
- FAT16 または FAT32 でフォーマットしたもの以外は使用できません。
- USB の最大メモリサイズは、32GB です。
- シングルパーティション構成にのみ対応しています。
- USBメモリーのサイズによってはディスプレイ本体のバックカバー周辺部に接触して取り付けられない場合があります。その場合は、市販の延長ケーブル又は小型タイプのUSBメモリーをご使用ください。

■静止画 対応フォーマット

拡張子	フォーマット	制限事項
Jpg/jpeg/jpe	JPEG	画素数：最大4096 × 4096(ベースラインのみ対応) YUV フォーマット：YUV444、YUV442、YUV440 に対応 カラーモード：RGB のみ対応
Bmp*1 bmp	Windows Bitmap	画素数：最大4096 × 4096 (1bit、4bit、8bit、24bit) 次の形式には対応していません。ランレングス圧縮、ビットフィールド、 トップダウン、透過データ

➢ 複数台監視制御ソフト使用時に対応できる静止画は、jpgファイル(プログレッシブJPEGは非対応)のみです。

*1: bmpフォーマットに対応しているのは、VF2、VF2、VF1、SQ1H、WQ1H、SQ1、SF2、EQ、XFシリーズです。

■動画 対応フォーマット

拡張子	コーデック	
	映像	音声
avi	MPEG4 AVC/H.264, MPEG-4 Visual	MPEG-1/2 Audio Layer-3(MP3), Linear PCM
mkv	MPEG4 AVC/H.264, MPEG-4 Visual	MPEG-1/2 Audio Layer-3, Linear PCM, AAC, HE-AAC
Asf/wmv	MPEG4 AVC/H.264, MPEG-4 Visual, VC-1 Advanced, VC-1, Simple&Main	MPEG-1/2 Audio Layer-3, WMA Standard, WMA9/10Pro
Ts/mts	MPEG4 AVC/H.264, MPEG-4 Visual	MPEG-1/2 Audio Layer-3, HE-AAC
Mp4	MPEG4 AVC/H.264, MPEG-4 Visual	MPEG-1/2 Audio Layer-3, AAC, HE-AAC
3gp	MPEG4 AVC/H.264, MPEG-4 Visual	AAC, HE-AAC
mov	MPEG4 AVC/H.264, MPEG-4 Visual	MPEG-1/2 Audio Layer-3, Linear PCM, AAC, HE-AAC
Flv/f4v	MPEG4 AVC/H.264	MPEG-1/2 Audio, Layer-3, AAC, Linear PCM

3. 対応フォーマットの制限事項

■映像

コーデック	LF,EF,VF,SF,XFシリーズ
MPEG-4, AVC/H.264, High Profile	解像度：最大1920 × 1080 フレームレート：最大30fps（プログレッシブ） ビットレート：最大30Mbps • Level4.2以下 • MVC（多視点）非サポート
MPEG-4 Visual, Simple Profile および Advanced Simple Profile	解像度：最大1920 × 1080 フレームレート：最大30fps（プログレッシブ） ビットレート：最大30Mbps • GMCは1ポイントのみ対応 • Data Partitioning非対応
VC-1, Simple Profile および Main Profile	解像度：最大1920 × 1080 フレームレート：最大30fps（プログレッシブ） ビットレート：最大20Mbps
VC-1, Advanced Profile	解像度：最大1920 × 1080 フレームレート：最大24fps（プログレッシブ） 最大30fps（インターレース） ビットレート：最大30Mbps LevelはL3以下の対応

コーデック	SQ1H,WQ1H,SQ,EQ,BQ
H.264/ MPEG4 AVC MP@L5.1/ HP@L5.1	1 920 × 1 080p@60.0 3 840 × 2 160p@30.0 ビットレート：最大80Mbps • MVC（多視点）非対応
H.265 MP@L5.1/ MP10@L5.1	3 840 × 2 160p@60.0 1 920 × 1 080p@60.0 ビットレート：最大80Mbps • GMCは1ポイントのみ対応 • Data Partitioning非対応
MPEG4 Visual SP@L5/ASP @L5	1 920 × 1 080p@30.0 ビットレート：最大40Mbps ••MPEG4 Part2で規定されるビデオ規格
VC-1 Advanced AP@L3	1 920 × 1 080i@30.0 1 920 × 1 080p@24.0 ビットレート：最大40Mbps
VC-1 Simple & Main SP@LL/SP@ ML/MP@LL/ MP@ML/MP@ HL	1 920 × 1 080p@30.0 ビットレート：最大40Mbps

■音声

コーデック	サンプリング周波数 (kHz)	ビットレート(kbps)
MP3	8/10.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48	8 ~ 320
WMA Standard		32 ~ 384
WMA 9		32 ~ 384
WMA 10 Pro		32 ~ 384
LPCM		64 ~ 1536 対応量子化ビット：8/16/24/32
AAC		8 ~ 1440
HE-AAC		8 ~ 256

- 1 ファイルの最大サイズは、2GB までです。
- 記載されている対応フォーマットのファイルでも再生できないものがあります。
- デジタル著作権管理（DRM）で保護されたファイルは再生できません。
- 映像と音声を共に対応しているコーデックとしてください。動画ファイルの音声コーデックが非対応フォーマットの場合、映像が正しく表示されない場合があります。また、音声のみのファイルは再生できません。
- コーデックのProfile やLevel など規定された最大ビットレートを超過して再生はできません。また、USB メモリーによっては、記載されている最大ビットレート以下でも再生できない場合があります。

A) USBメモリーにコンテンツを保存して再生

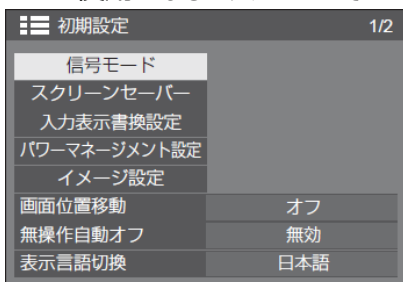
■準備するもの

USBメモリー	パソコン	複数台監視制御ソフトウェア	LANケーブル	分配器
				
必要	必要	不要	不要	不要

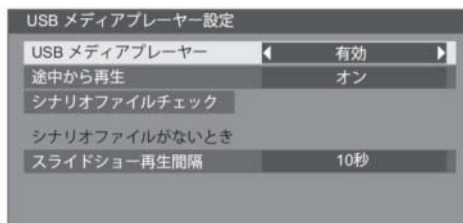
1. ディスプレイの設定を行います

リモコンで「初期設定」2 ページ目の「USBメディアプレーヤー設定」を選択します。

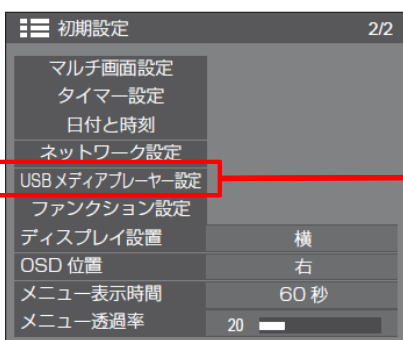
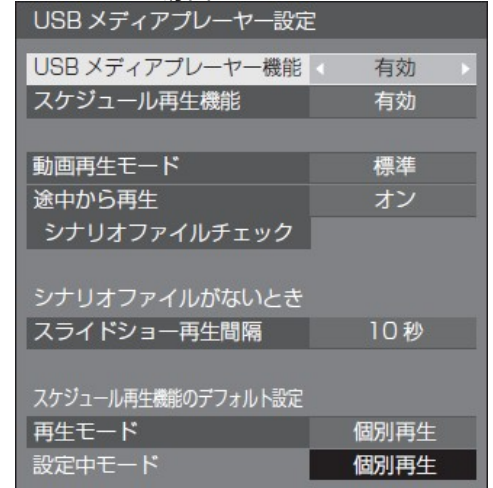
*ご使用になるモデルによってメニュー画面が違います。本マニュアル3ページにてご確認ください。



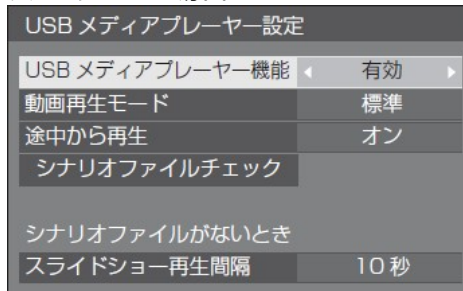
グループA*の場合



グループC*の場合



グループB*の場合



- ① **USBメディアプレーヤー機能** ※出荷設定は「有効」。
USBメディアプレーヤーの機能を有効に設定します。
- ② **スケジュール再生機能** (グループCのみ) ※出荷設定は「無効」。
コンテンツマネジメントソフトウェアによるスケジュール再生機能を有効または無効にします。
本機能有効時、コンテンツマネジメントソフトウェアで作成したスケジュールファイルがUSBメモリーに存在する場合は、そのファイルが優先して動作しますので、無効に設定してください。
- ② **動画再生モード** (グループB、グループCのみ)
※出荷設定は「標準」。動画再生モードを設定します。
標準：動画ファイル間のつなぎ目を黒画無しで再生します。
補正：動画ファイル間のつなぎ目に黒画（約2秒）を挿入して再生します。
動画ファイルのフォーマットによって、動画ファイル間のつなぎ目で画像が乱れる場合があります。その場合は、「補正」に設定してください。
- ③ **途中から再生** ※出荷設定は「オン」
「オン」：入力切り替えなどでメディアプレーヤー終了時、次回スタート時は、終了前に再生されたコンテンツから再生します。
「オフ」：常に最初(ファイル名順)のコンテンツから再生されます。
※ディスプレイの電源を切る又は、USBメモリーを抜くと、本機能は働きません。
- ④ **スライドショー再生間隔** ※出荷設定「10秒」
静止画像の表示時間を選択します。
10秒～600秒
動画ファイルは動画の再生時間が優先されます。

2. USBメモリーにコンテンツを保存します。

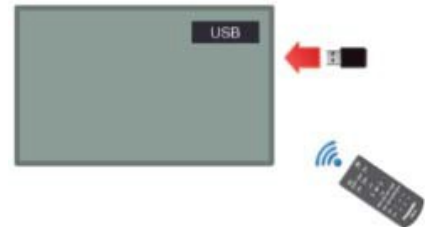
用意した静止画又は動画コンテンツを、パソコンを使ってUSBメモリーに保存します。

- ※ファイルはUSBメモリー内の名前順に再生されます。
(数字小⇒数字大⇒アルファベットの順)
- ※縦置き設置の場合は、ディスプレイの回転方向を確認のうえ、コンテンツを制作してください。
- ※コンテンツは、フォルダに収納せず、ルートディレクトリ (例 E:¥)に保存してください。



3. USBメモリーをディスプレイ本体に差し込みます。

- ①コンテンツを保存したUSBメモリーをディスプレイのUSBポートに差し込みます。
- ②ディスプレイの入力を「USB」に切替えます。



コンテンツをファイル名 (文字コード) 順に再生します。

B) USBメモリーにコンテンツ+シナリオファイルを保存して再生

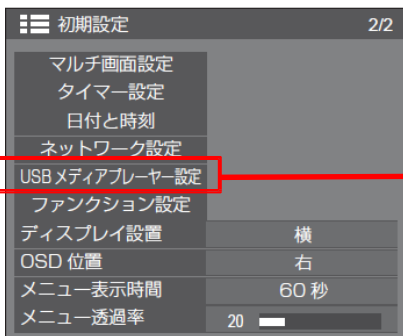
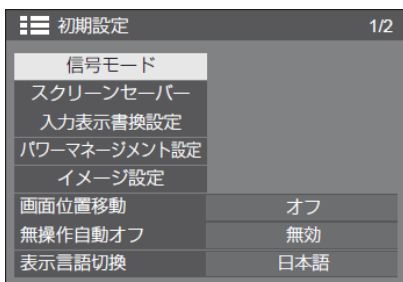
■準備するもの

USBメモリー	パソコン	複数台監視制御ソフトウェア	LANケーブル	分配器
				
必要	必要	必要	不要	不要

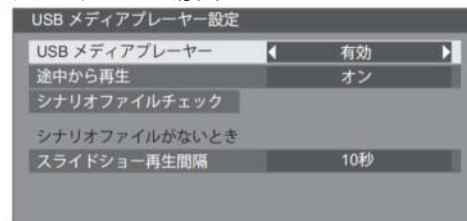
1. ディスプレイの設定を行います

リモコンで「初期設定」2ページ目の「USBメディアプレーヤー設定」を選択します。

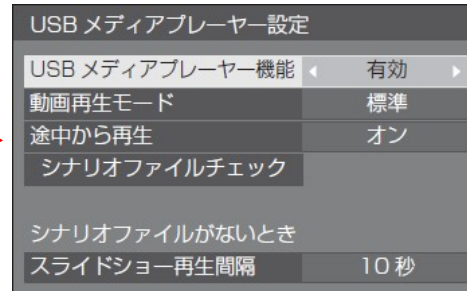
*ご使用になるモデルによってメニュー画面が違います。本マニュアル3ページにてご確認ください。



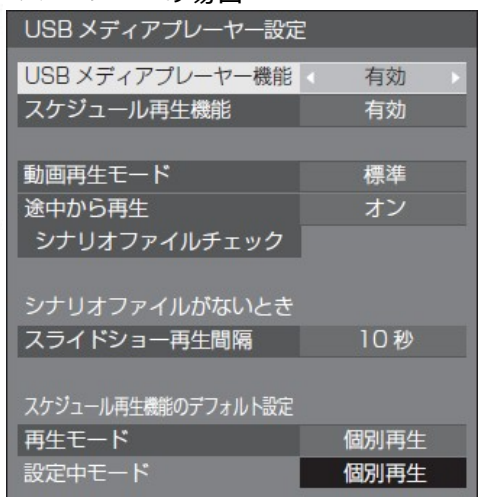
グループA*の場合



グループB*の場合



グループC*の場合



- ① **USBメディアプレーヤー機能** ※出荷設定は「有効」。
USBメディアプレーヤーの機能を有効に設定します。
- ② **スケジュール再生機能** (グループCのみ) ※出荷設定は「無効」。
コンテンツマネジメントソフトウェアによるスケジュール再生機能を有効または無効にします。
本機能有効時、コンテンツマネジメントソフトウェアで作成したスケジュールファイルがUSBメモリーに存在する場合は、そのファイルが優先して動作しますので、無効に設定してください。
- ② **動画再生モード** (グループB、グループCのみ)
※出荷設定は「標準」。動画再生モードを設定します。
標準：動画ファイル間のつなぎ目を黒画無しで再生します。
補正：動画ファイル間のつなぎ目に黒画（約2秒）を挿入して再生します。
動画ファイルのフォーマットによって、動画ファイル間のつなぎ目で画像が乱れる場合があります。その場合は、「補正」に設定してください。
- ③ **途中から再生** ※出荷設定は「オン」
「オン」：入力切り替えなどでメディアプレーヤー終了時、次回スタート時は、終了前に再生されたコンテンツから再生します。
「オフ」：常に最初(ファイル名順)のコンテンツから再生されます。
※ディスプレイの電源を切る又は、USBメモリーを抜くと、本機能は働きません。
- ④ **スライドショー再生間隔** ※出荷設定「10秒」
静止画像の表示時間を選択します。
10秒～600秒
動画ファイルは動画の再生時間が優先されます。

2. 複数台監視制御ソフト（MMCS）を立ち上げます。

①WEBサイトから複数台監視制御ソフトウェア（MMCS）をダウンロードし、パソコンへインストールします。

ダウンロードはこちら

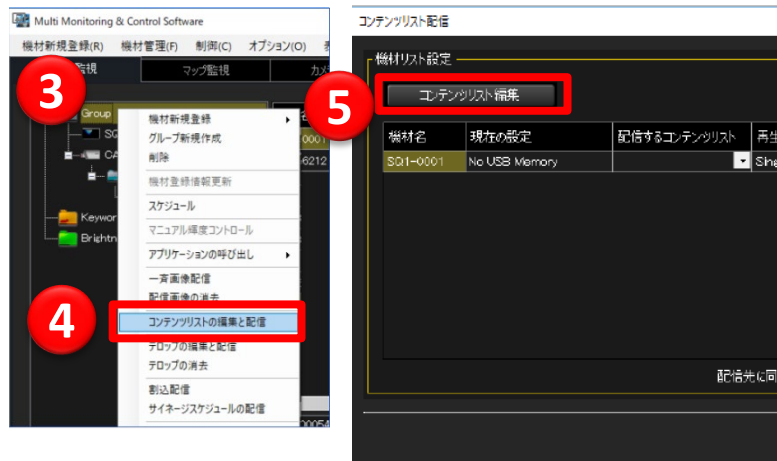
⇒<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/download/software/index.html>

②MMCSを起動します。

③Groupを右クリックして、メニューを表示します。

④「コンテンツリストの編集と配信」を選択します。

⑤「コンテンツリスト編集」を選択します。



3. コンテンツリストを作成します。

【注意】コンテンツはあらかじめパソコンに保存してください。

①コンテンツリスト名を選択します。

- 最大50個のコンテンツリストを作成できます。

- リスト名は任意の名前に変更できます。（英数字 最大16文字まで）

②「追加」をクリックします。

エクスプローラーが開きますので、パソコン内のコンテンツを保存したフォルダーを選択します。

③再生するコンテンツを選択します。

④「開く」をクリックします。

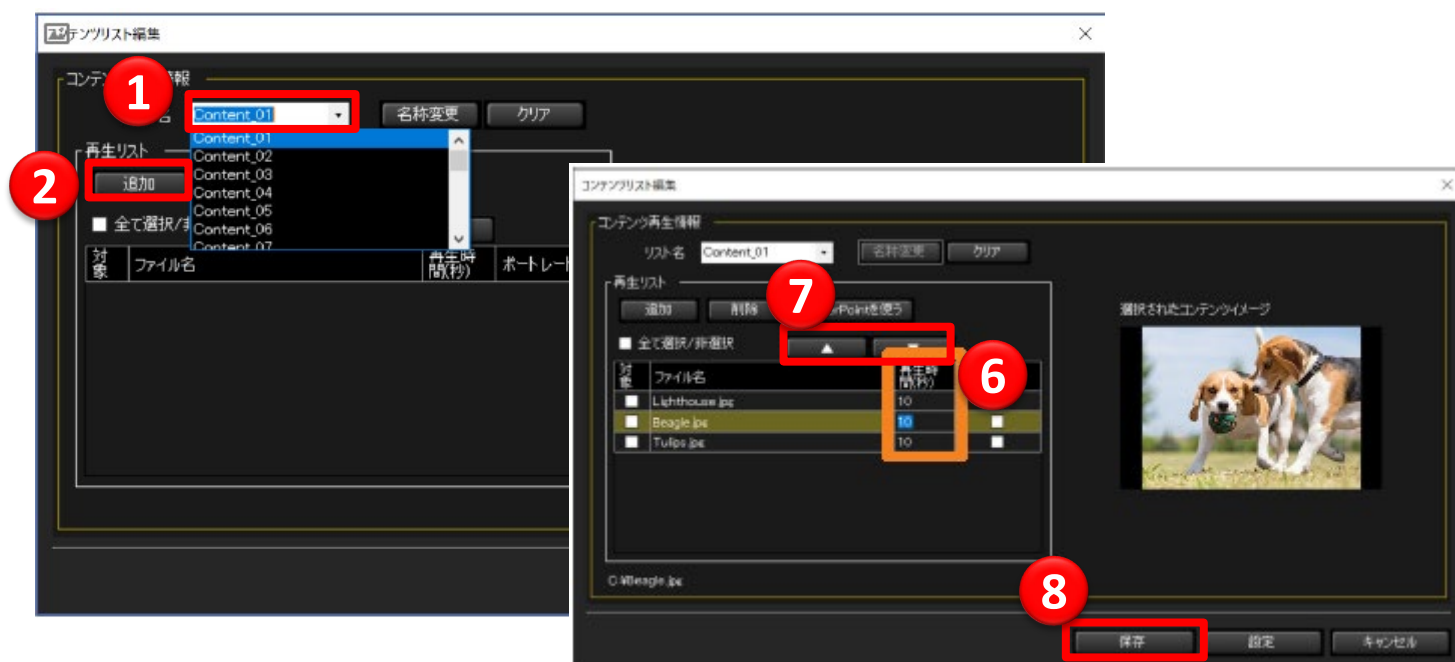
⑤再生リストに、選択したコンテンツがリストで表示されます。

⑥ 1コンテンツの再生時間を設定します。

静止画：3秒～86,400秒の範囲で設定。

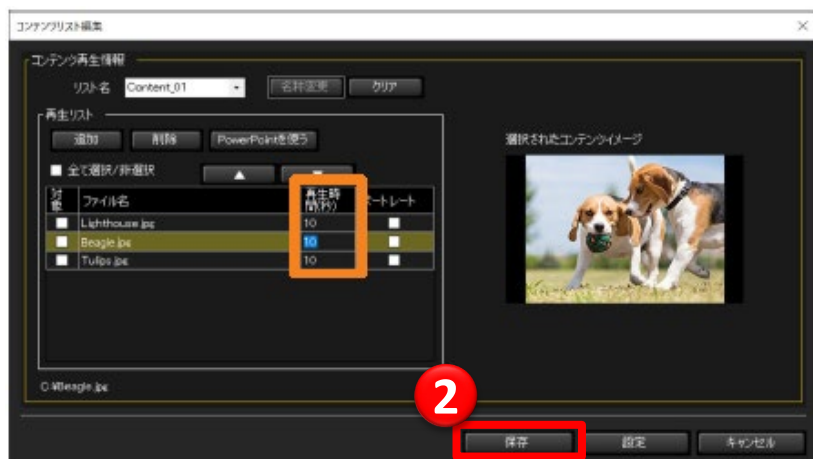
動画：動画の再生時間が表示されます。

⑦コンテンツの再生順番を設定します。順番を入れ替えたいコンテンツを選択し、▲▼ボタンで移動させます。



4. コンテンツリストをUSBメモリーに保存します。

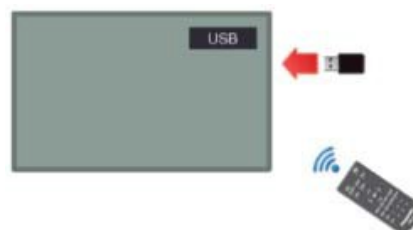
- ①パソコンのUSBポートに、コンテンツを保存するUSBメモリーをセットしてください。
- ②「保存」をクリックし、任意のデバイスを選択します。
- ③保存が完了するとメッセージが表示されます。



単体の機材で再生を行うので、【シングル再生】を選択ください

5. USBメモリーをディスプレイ本体に差し込みます。

- ①コンテンツを保存したUSBメモリーをディスプレイのUSBポートに差し込みます。
- ②ディスプレイの入力を「USB」に切替えます。



作成したコンテンツリストに従ってコンテンツを再生します。

■準備するもの

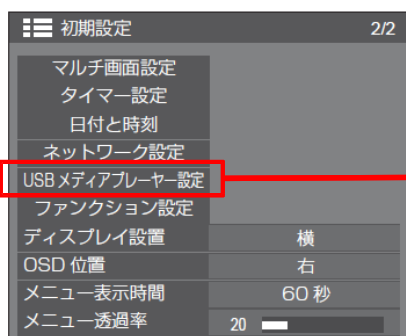
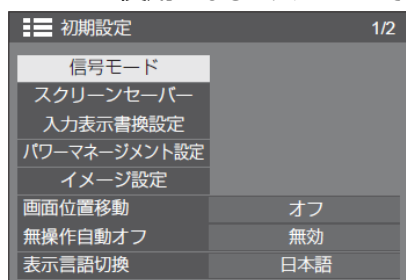
USBメモリー	パソコン	複数台監視制御ソフトウェア	LANケーブル	分配器
				
必要	必要	必要	必要	必要*

*1台のパソコンから複数台のディスプレイに配信の場合

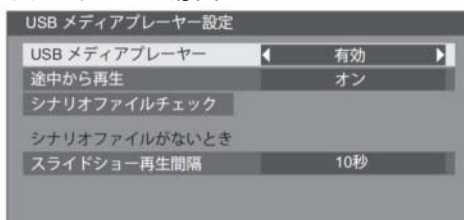
1. ディスプレイの設定を行います

リモコンで「初期設定」2 ページ目の「USBメディアプレーヤー設定」を選択します。

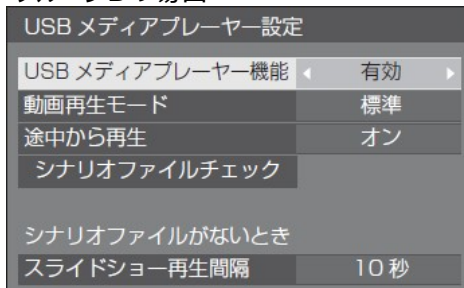
*ご使用になるモデルによってメニュー画面が違います。本マニュアル3ページにてご確認ください。



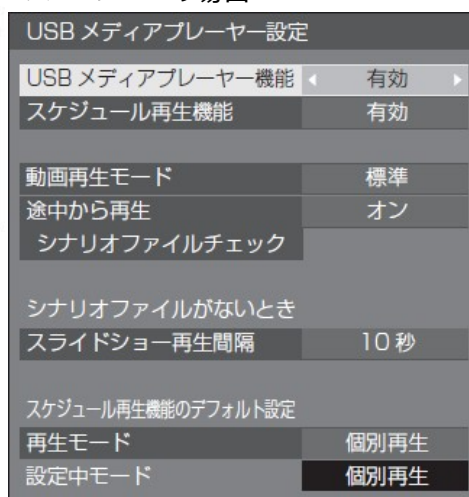
グループA*の場合



グループBの場合



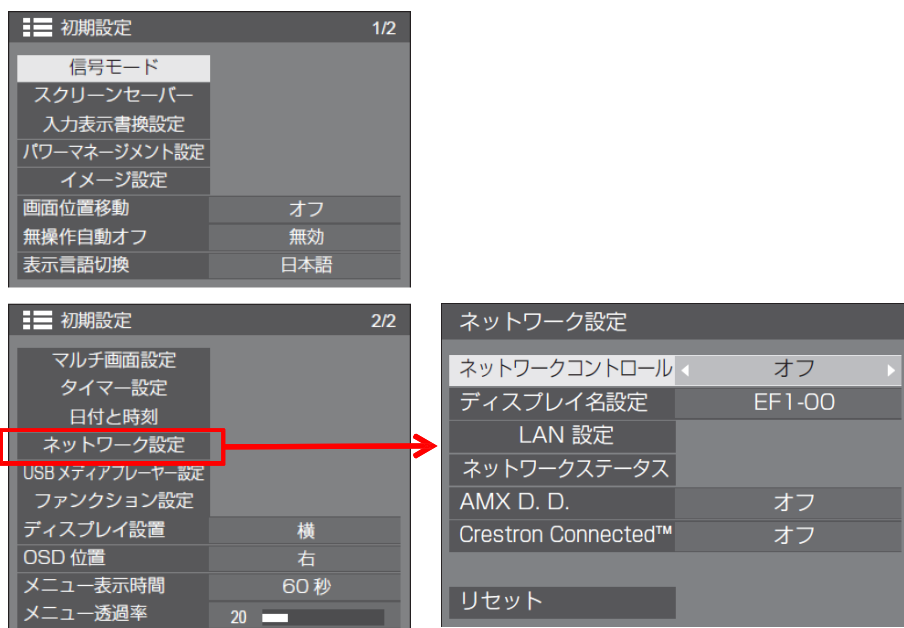
グループC*の場合



- ① **USBメディアプレーヤー機能** ※出荷設定は「有効」。
USBメディアプレーヤーの機能を有効に設定します。
- ② **スケジュール再生機能** (グループCのみ) ※出荷設定は「無効」。
コンテンツマネジメントソフトウェアによるスケジュール再生機能を有効または無効にします。
本機能有効時、コンテンツマネジメントソフトウェアで作成したスケジュールファイルがUSBメモリーに存在する場合は、そのファイルが優先して動作しますので、無効に設定してください。
- ② **動画再生モード** (グループB、グループCのみ)
※出荷設定は「標準」。動画再生モードを設定します。
標準：動画ファイル間のつなぎ目を黒画無しで再生します。
補正：動画ファイル間のつなぎ目に黒画 (約2秒) を挿入して再生します。
動画ファイルのフォーマットによって、動画ファイル間のつなぎ目で画像が乱れる場合があります。その場合は、「補正」に設定してください。
- ③ **途中から再生** ※出荷設定は「オン」
「オン」：入力切り替えなどでメディアプレーヤー終了時、次回スタート時は、終了前に再生されたコンテンツから再生します。
「オフ」：常に最初(ファイル名順)のコンテンツから再生されます。
※ディスプレイの電源を切る又は、USBメモリーを抜くと、本機能は働きません。
- ④ **スライドショー再生間隔** ※出荷設定「10秒」
静止画像の表示時間を選択します。10秒
～600秒
動画ファイルは動画の再生時間が優先されます。

2. ネットワークの設定を行います

リモコンで「初期設定」2 ページ目の「ネットワーク設定」を選択します。



①**ネットワークコントロール** ※出荷設定は「オフ」。「オン」にします。

②**ディスプレイ名設定** ※出荷設定は「シリーズ名-00」。
ネットワーク上で表示される名前です。複数台運用される場合は変更をお勧めします。

③**LAN設定** ※出荷設定 右下図のとおり
既存のネットワークを使用する場合は、この画面でLANの設定を行ってください。接続するディスプレイと操作PCは同じネットワークの中に入れておく必要があります。

④**ネットワークステータス**
ネットワークの設定を確認する画面です。

LAN 設定		ネットワークステータス	
保存		DHCP	オフ
DHCP	オフ	IP アドレス	192.168.0.8
IP アドレス	192.168.0.8	サブネットマスク	255.255.255.0
サブネットマスク	255.255.255.0	ゲートウェイ	192.168.0.1
ゲートウェイ	192.168.0.1	MAC アドレス	12:34:56:78:9A:BC
ポート	1024		

■ 接続する前にチェックしてください！

チェック1：LANケーブルについて

- ・LANケーブルは、CAT5以上に対応したものを使用してください。
*DIGITAL LINK経由で配信する場合、DIGITAL LINKはCAT5e以上のLANケーブルが必要となりますのでご注意ください。

チェック2：有線LANの設定

- ・有線LAN機能が内蔵されているパソコン
 - －有線LANを有効にしてください。
- ・有線LAN機能が内蔵されていないパソコン
 - －有線LANアダプターが正しく認識され、有効になっていることを確認してください。

チェック3：対応OSについて Windows PCのみ

3. ディスプレイとパソコンをLANケーブルで接続する。

- ①MMCSを操作するパソコンと使用するディスプレイをLANケーブルで接続します。
- ②複数のディスプレイを使用する際は、HUBを介して接続してください。
- ③USBメモリーをディスプレイに差し込んでおいてください。



4. パソコンの設定をする。

「ネットワークと共有センター」へアクセスし、有線LANのIPアドレスを設定します。
ディスプレイのネットワークステータスと同じネットワークに入るようにIPアドレスを設定します。

パソコン

インターネット プロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ

ネットワークステータス

DHCP オフ
IP アドレス 192.168.0.9
サブネットマスク 255.255.255.0
ゲートウェイ 192.168.0.1
MAC アドレス 12.34.56.78.9A.BC

ディスプレイ本体のネットワークステータス

192 . 168 . 0 . 9
255 . 255 . 255 . 0
192 . 168 . 0 . 1

5. 複数台監視制御ソフト (MMCS) を立ち上げます。

- ①WEBサイトから複数台監視制御ソフトウェア (MMCS) をダウンロードし、パソコンへインストールします。
ダウンロードはこちら
⇒ https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services_prodisplays_download_software_multi
- ②MMCSを起動します。

6. ディスプレイを登録します。

- ①メニューから「機材新規登録」→「機材個別登録」を選択
- ②登録する機材に設定されている「IPアドレス」「ユーザー名」「パスワード」を入力
※MMCS起動後、「機材新規登録」がアクティブになるには少し時間がかかります。
- ③【登録】をクリック
- ④【閉じる】をクリック
- ⑤登録した機材が機材監視画面のツリー部に表示されます。

1 Multi Monitoring & Control Software

機材個別登録

2

3

4

5

Multi Monitoring & Control Software

機材監視

Group

Name0212

7. コンテンツリストを作成します。

- ① 機材監視画面のツリー部から、機材、グループ、キーワードのアイコンを選び、右クリックで【コンテンツリストの編集と配信】を選択

※USBメモリーに必要なデータがある場合は、キャンセルをして、事前にパソコンに保存してください。

- ② 「コンテンツリスト編集」をクリックします。



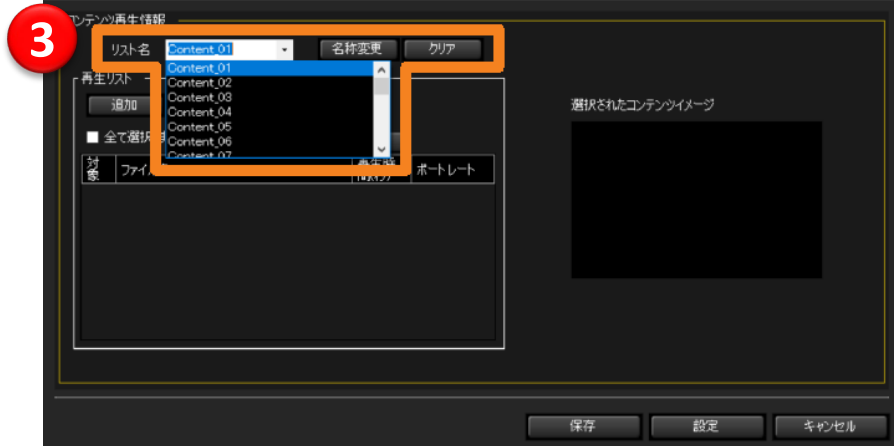
- ③ コンテンツリスト名を選択します。

- ④ 「追加」をクリックします。

ファイル選択画面が表示されるので、登録するコンテンツを選択し、[開く]をクリック。

* 1度に複数のコンテンツを選択可能です。

- ⑤ 選択したファイルが静止画の場合は画像イメージが、動画の場合は動画を表すアイコンが表示されます。



- ⑥ 再生リストに、選択したコンテンツがリストで表示されます。

- ⑦ 1コンテンツの再生時間を設定します。静止画：3秒～86,400秒の範囲で設定。動画：動画の再生時間が表示されます。

- ⑧ コンテンツの再生順番を設定します。順番を入れ替えたいコンテンツを選択し、▲▼ボタンで移動させます。

- ⑨ 「設定」をクリックして、完了です。



A) Single-Playbackで、コンテンツリストを配信します。(Multi-Playbackは 16ページへ)

登録したそれぞれのディスプレイに配信の設定をします。

- ① 機材監視画面のツリー部から、機材、グループ、キーワードのアイコンを選び、右クリックで【コンテンツリストの編集と配信】を選択
- ② 「配信するコンテンツリスト」を選択します。
コンテンツが登録されている、コンテンツリストをプルダウンメニューからで選択できます。
- ③ 「再生モード設定」を設定します。
 - Single-Playback：各々のディスプレイで同期再生をしない
 - Multi-Playback：各々のディスプレイで同期再生をする
ここではSingle-playbackを選択します。
- ④ 「配信」をクリックします。



※コンテンツ配信時は、ディスプレイ画面がブラックアウトし、右上に「コンテンツ書き換え中」のメッセージが表示されます。
※配信するコンテンツリストの容量が大きい場合は、書き換えに時間がかかる場合があります。



コンテンツリスト配信が完了すると再生を開始します。

B) Multi-Playbackで、コンテンツリストを配信します。(Single-Playbackは、15ページへ)

登録したそれぞれのディスプレイに配信の設定をします。

- ①「配信するコンテンツリスト」を選択します。
コンテンツが登録されている、コンテンツリストをプルダウンメニューからで選択できます。
- ②「再生モード設定」を設定します。
 - Single-Playback：各々のディスプレイで同期再生をしない
 - Multi-Playback：各々のディスプレイで同期再生をする ここで
はMulti-playbackを選択します。
- ③「Parent」で、親にするディスプレイにチェックをいれます。
親のディスプレイの再生時間に合わせてコンテンツが切り替わります。
- ④「グループ番号」を選択します。
同期再生を行うディスプレイを同じグループに設定してください。
- ⑤「配信」をクリックします。
- ⑥配信が完了すると、画面下部に成功のメッセージが表示されます。
※配信に失敗すると「エラーメッセージ」が表示されます。

※コンテンツ配信時は、ディスプレイ画面がブラックアウトし、右上に「コンテンツ書き換え中」のメッセージが表示されます。
※配信するコンテンツリストの容量が大きき場合は、書き換えに時間がかかる場合があります。
※光ID送信機能をご使用の場合は、Multi-Playbackに対応していません。

※同じグループの中で配信するコンテンツリストが異なる場合、各コンテンツの表示時間は、③で親機(parent)に設定したディスプレイのコンテンツリストの再生時間(秒)が優先されます。
※1台のPCから同時にコンテンツ配信できるディスプレイの台数は、128台です。それ以上の台数の場合は、128台の配信が完了後、配信がスタートします。



コンテンツリスト配信が完了すると再生を開始します。

6. 日時/曜日を指定して配信する

スケジュールの例

9月15日15:20 コンテンツリスト配信

9月15日15:25 電源ONで再生スタート

スケジュールは最大100リスト設定することが出来ます。

1. スケジュールの設定を行います。

① 機材監視画面のツリー部から、機材、グループ、キーワードのアイコンを選び、右クリックで【スケジュール】を選択

② スケジュール作成画面で、コンテンツリストを配信する日時を指定します

日時指定、曜日、日にちで設定が可能です。

例：指定日：2021/09/15、時間：15:20

※コンテンツリストのデータ容量が多い場合は、配信に時間がかかります。

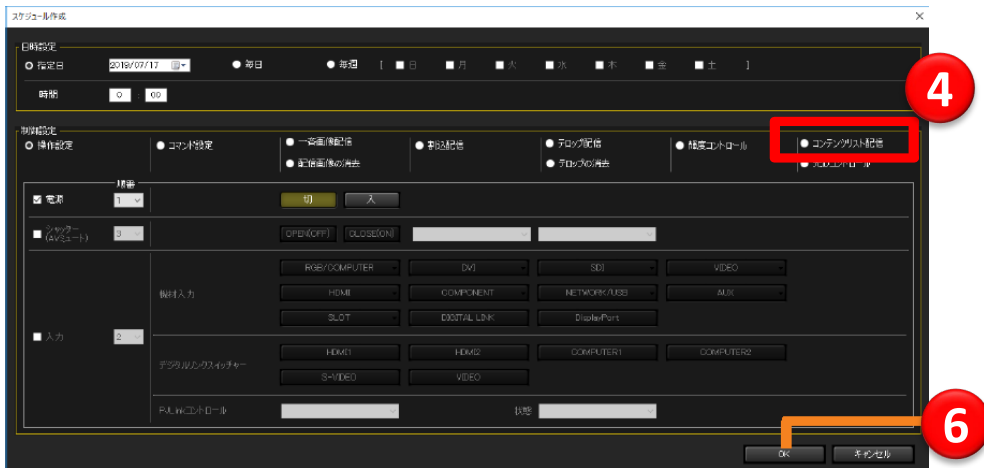
再生スタートする時間から逆算して早めの時間設定をお勧めします。


③ スケジュール設定画面の「スケジュール追加」をクリックします。

④ 制御設定で、「コンテンツリスト配信」を選択します。

⑤ 機材リスト設定の画面で、配信するコンテンツリストと、再生モード設定を行います。

⑥ 設定が完了したら「OK」をクリックします。



スケジュール設定が完了すると、機材監視画面のツリー部に  が表示されます。

6. 日時/曜日を指定して配信する

⑦スケジュール設定の画面に戻りますので、再度「追加」をクリックします。

⑧スケジュール作成画面で、コンテンツリストを再生する日時を指定します。

日時指定、曜日、日にちで設定が可能です。

例：指定日：2021/09/15, 時間：15:25

⑨制御設定で、「操作設定」を選択します。

電源：「入」を選択します。

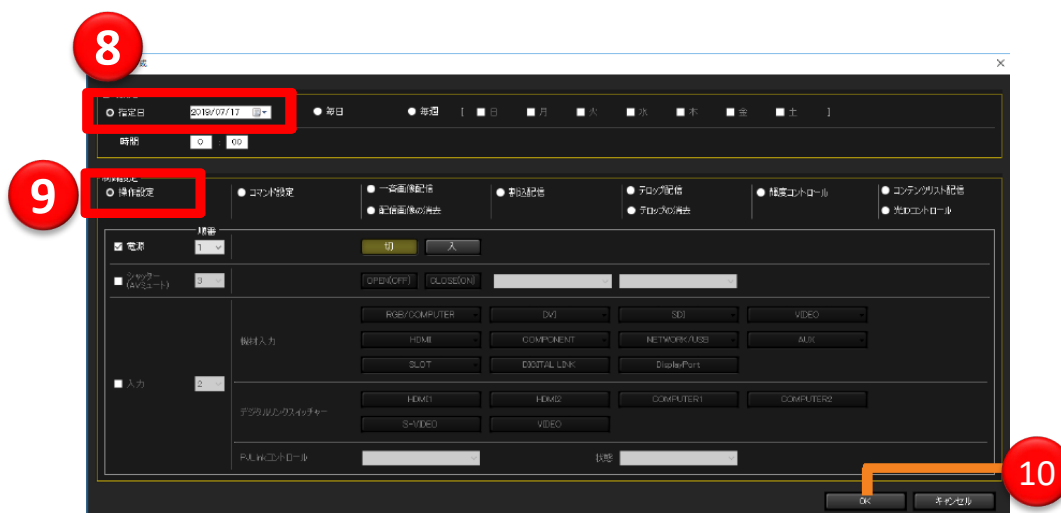
入力：「USB」を選択します。

⑩設定が完了したら「OK」をクリックします。

スケジュール設定画面が表示されますので、「閉じる」をクリックして閉じます。

設定したスケジュールの確認は、「オプション」⇒「スケジュール一覧」の画面で確認できます。

※スケジュールによる配信や操作設定を行う場合は、パソコンの電源を立ち上げた状態にしておいてください。ディスプレイ側はネットワークスタンバイ（リモコンでオフ）状態にしておいてください。

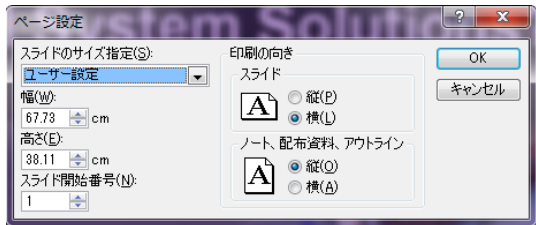


PowerPointで作成したファイルを静止画または動画に変換してコンテンツとして配信することができます。

■ PPTのページ設定を事前に行ってください！

※Microsoft PowerPoint 2010/2013に対応しています。
 ※設定によってはPPTからの変換の際に解像度が落ちてしまうため、本設定を事前に行うことをお勧めします。
 ※本設定は、PowerPoint2010の場合です。バージョンによっては、多少サイズが異なる場合があります。その場合は、幅と高さの微調整を行ってください。
 PPTを起動し、「デザイン」⇒「ページ設定」を開きます。
 以下の設定を行ってください。

スライドサイズ	スライドのサイズ設定(S)	幅(W)	高さ(E)
16:9の場合	ユーザー設定	67.73cm	38.11cm
4:3の場合	ユーザー設定	50.80cm	38.10cm



(注意) 編集中のPowerPointファイルがある場合は事前に保存しておいてください。

1. PowerPointデータを取り込みます。

- ① 機材監視画面のツリー部から、機材、グループ、キーワードのアイコンを選び、右クリックで【コンテンツリストの編集と配信】を選択。
 スケジュール設定画面を表示し、[スケジュール追加]または、[編集]→[制御設定]の[コンテンツリスト配信]にチェックを入れます。
- ② 「PowerPointを使う」をクリックします
- ③ 「選択」をクリックして、変換するPPTデータを選択し、「開く」をクリックします。



2. 取り込んだPowerPointデータを変換します。

- ④ 静止画に変換する場合：「変換(JPG)」をクリックします。動画に変換する場合：「変換(WMV)」をクリックします。
- ⑤ 変換が完了すると、イメージ画像の下に「処理完了」メッセージが表示されます。
- ⑥ 「閉じる」をクリックして画面を閉じます。
- ④ コンテンツリストに変換したデータが表示されます。「保存」をクリックして、USBメモリーに保存します。
 USBメモリーに保存しない場合も、コンテンツリストを保存するために、「保存」をクリックしてください。
 (エクスプローラー画面が開きますが、操作せずに閉じてください)
 ※静止画変換する場合、アニメーション効果などは破棄されます。
 ※動画変換する場合、アニメーション効果、スライドの枚数などの設定状況により変換に時間がかかります。



8. テンプレートご利用方法

簡単にUSBサイネージが実施できるPowerPointテンプレートを各種ご用意しております。
<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/download/template/>

Windows 8以降の場合

1. ご利用になるテンプレート内のテキストや画像を必要に応じて修正してください。

<画像の挿入方法>

- ①差し替えたい部分の画像を右クリック
- ②『図の変更』を選択
- ③差し替え画像をフォルダより選択し、『挿入』ボタンをクリック



2. 修正完了後にPowerPointをJPEG形式に変換してください。

<JPEG形式への変換方法>

- ①ファイルタブをクリックし、『名前をつけて保存』を選択
- ②『ファイルの種類』のプルダウンより“JPEG交換形式(*.jpg)”を選択
- ③変換後の画像の保存先を指定し、『保存』ボタンを選択

☆縦型テンプレートをご利用の際は、JPEG保存後にペイントで画像を開き、90度回転してご使用ください。

- ①保存した画像を「ペイント」で開く
- ②回転をクリックし、『右へ90度回転』もしくは『左へ90度回転』のいずれかを選択
- ③画像回転後、上書き保存



※ご利用のモデルによってコンテンツの回転方向が違いますのでご注意ください。
SQ1H/WQ1H/SQ1/SF2H/SF2/EQ1/BQ1/XF1H : 左へ90度回転(反時計回り)
LF80/SF1H/EF1/VH1H/VF2H/VF2 : 右へ90度回転(時計回り)

Panasonic

BUSINESS



業務用ディスプレイ「まかせなサイト」

<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/>



業務用ディスプレイ紹介

<https://www.youtube.com/user/PanasonicProDisplay>